

中小企業あきた

- 1 コロナに負けず、がんばっています！ 1
- 2 商工中金・組合実態調査報告書〈2020年版〉から 2



○景況レポート 7月分 4

- 話題の広場
- 中央会事業より 6
- 支援団体活動レポート 8
- 新理事長紹介 9
- アラカルト 9
- インフォメーション 9



TOPICS 1 コロナに負けず、がんばっています！

トピックス SPECIAL FEATURES

今年、新型コロナウイルス感染症で様々なイベント等が中止となり、異例の夏となりました。そこで、今回は、このような逆境に負けずに頑張っている本会会員組合等の取組をご紹介します。

需要回復を目指し、30銘柄を統一ラベルで販売

(秋田県酒造協同組合)

秋田県酒造協同組合(齋藤雅人理事長、組合員35名)では、組合員のうち30社が日本酒を1銘柄ずつ提供し、30銘柄を統一ラベルで販売する「秋田旬吟醸2020」の予約販売を行いました。

これは、新型コロナウイルス感染症の影響で消費が低迷する日本酒業界を盛り上げようと企画されたもので、各社から県産米を50%以上使用した純米吟醸や純米大吟醸が用意されました。

ラベルは新政酒造(秋田市)が監修し、「美酒王国秋田」のロゴを使用したデザインに統一、色は各酒造会社の個性をイメージして決められました。

各銘柄とも限定540本とし、8月3日(月)に予約販売の開始を発表したところ、新聞・テレビ等の

メディアに取り上げられ、注文が殺到し、ほどなく完売しました。

今回の取組は、「乾杯だよ！秋田の地酒で全員集合！」プロジェクトの企画の一つとして実施しており、今後、組合では次の企画を検討・実施し、業界をさらに盛り上げていくこととしています。



[統一ラベルで販売された秋田旬吟醸2020]

商店街を会場に文化祭を開催

(湯沢市中心部4商店街)

8月10日(月)から同23日(日)まで、湯沢市中心部にある大町、柳町、中央通り、駅通りの4商店街やJR湯沢駅を会場に、「まちなか文化祭inゆざわ」が開催されました。

この文化祭は、新型コロナウイルスの影響で、地域のイベントが中止された商店街に賑わいを取り戻すとともに、学校行事の規模縮小に伴い、成果を披露する場を失った市内の高校文化部員に、作品展示の場を提供するために、各商店街で組織する「まちなかにぎわい委員会」が主催したものです。

湯沢高校の生徒から同委員会に、商店街で作品を展示できないかと相談されたことがきっかけとなり、湯沢翔北高校を加えた2つの高校と4商店街が協力・連携し開催することとなりました。

会場では、商店のショーウィンドーや市交流

スペースなどに、絵や写真、書などの作品が展示されました。

今年、8月の伝統行事「七夕絵どうろうまつり」が中止となりましたが、高校生の作品の力が商店街を彩りました。



[空き店舗に展示された絵画作品]

コロナ対策を実施して草市を開催

(秋田市通町商店街振興組合)

8月12日(水)、秋田市通町商店街振興組合(佐藤政則理事長、組合員60名)において、お盆の恒例となっている草市が開催されました。

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、同商店街の来街者と各店の売上の減少が続いており、この状況を早期に回復させ、商店街に少しでも活気を取り戻す必要があります。

そこで、県の商店街消費喚起支援事業補助金を活用して、イベント参加者へのマスクの配布や消毒液の設置など、感染防止対策を徹底した上で行われました。

当日は、商店街の店舗をマスク目に見立てて、与えられたお題をクリアしながらお店を巡る「商店街すごろく」が行われた他、当商店街だけで使える商品券の抽選会を実施し、通町へ再度来てもらうきっかけをつくりました。

また、秋田舞妓と通町若旦那衆による打ち水や

ファイアーダンス、弾き語りライブなどが行われました。

毎年行っていた流しそうめんや野菜の直売などは感染防止のため実施しませんでした。家族連れや浴衣を着た子どもたちがイベントを楽しみました。

組合では、商店街にまた来てもらえるような企画を今後も実施していくこととしています。



[イベントの様子]

駅前を活気づける納涼ビアガーデンを開催

(横手駅前商店街振興組合)

7月17日(金)から8月8日(土)までの毎週金曜日と土曜日の計8日間にわたり、横手市のJR横手駅前にある「よこてイースト」において、納涼ビアガーデンが開催されました。

このイベントは、新型コロナウイルス感染症の影響により激減した客足と売上を回復させ、駅前に賑わいを取り戻そうと、横手駅前商店街振興組合(齋藤善一理事長、組合員41名)が企画したものです。

イベントの開催にあたっては、県の商店街消費喚起支援事業補助金を活用して、来場者への検温及びアルコール消毒、フェイスシールドやビニールフィルムを設置した上、来場者数を制限して行いました。

当日、会場内には、特設ステージが設けられ、県内のアーティストが8日間で合計約40組出演しました。このステージの設営・運営は、仕事が

激減した地元のイベント企画運営会社に委託して実施されました。

また、組合員店舗が出店し、飲食を提供した他、商店街店舗からテイクアウトした飲食物の持ち込みも可能とし、組合員の売上増加を図りました。

今回、感染防止対策を取り、他の商店街に先駆けてイベントを開催したことで、外出機会が少なかった地域住民やイベント関係者からは喜びの声が多く寄せられ、有意義なイベントとなりました。



[イベントの様子]

TOPICS 2 商工中金・組合実態調査報告書 <2020年版>から

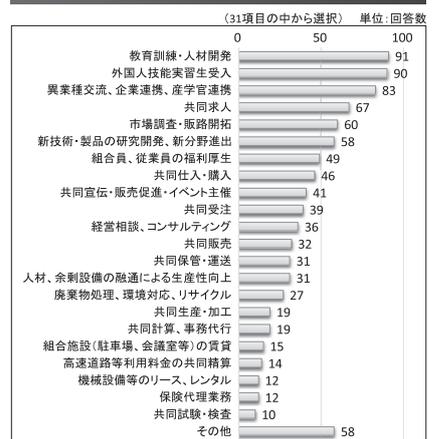
商工中金では、中小企業組合を取り巻く環境の変化が組合活動に及ぼす影響や、組合の現状等について、その実態を把握し、金融及び経営支援サービス等の向上に資することを目的に、一般財団法人商工総合研究所と共同で組合実態調査を実施し、その結果を6月に公表しました。今回はその中から一部を抜粋してご紹介します。

1. 組合事業(今後新規に取り組みたい事業)について

今後新規に取り組みたい事業についてみると、「教育訓練・人材開発」16.4%、「外国人技能実習生受入」(16.2%)、「異業種交流、企業連携、産学官連携」(15.0%)、「共同求人」(12.1%)、「市場調査・販路開拓」(10.8%)等が上位に挙げられている。

第1位は人的資源の質の向上、第2位と第4位は、人的資源の量の確保を目的とするものであり、中小企業の人的資源への関心の高まりが窺える。【図表1】

【図表1】 今後新規に取り組みたい事業



2. 組合による組合員支援

①現在実施している支援内容

テーマ別に現在実施している組合員支援内容をみると、「組合員相互の交流連携活動」が65.4%と最上位に挙げられている。以下「組合活動に資する補助金の取得、情報の収集」(32.6%)、「人材育成・強化」(31.5%)、「人手不足対応」(21.1%)、「上部団体の加入によるネットワーク拡充」(18.5%)の順に続いている。

参考までに「その他」(2.8%)の具体的な内容をみると、「学校教育との連携」、「他組合との事務局一体化」、「外国人技術者の紹介」などが挙げられている。

【図表2】

【図表2】現在の組合による組合員支援の状況



②今後求められる支援内容

今後求められる組合員支援についてみると、「人手不足対応」が36.1%と最上位に挙げられている。以下「事業承継支援」(29.0%)、「人材育成・強化」(26.9%)、「組合の経営力、事務局のマネジメント力の強化」(23.7%)、「働き方改革の推進(含、女性・高齢者の活躍促進)」(22.8%)、「防災、BCP」(21.7%)、「IT(情報技術)化、AI活用支援」(20.5%)の順に続いている。

SDGs関連の5項目である「防災、BCP」、「働き方改革の推進(女性・高齢者の活躍促進)」、「事務所周辺環境・景観の整備、まちづくり」、「組合施設の開放、地域・コミュニティへの貢献と連携(地域の課題解決)」、「環境対応・省エネ、再生エネルギー等の促進、製品等の安全性向上支援」についてみると、これらの少なくとも1つについて支援が求められるとみている組合は1,138(38.5%)と、やはり4割近くを占めている。

ちなみに5項目すべてについて支援が求められると回答している組合は127(4.3%)ある。【図表3】

【図表3】今後求められる組合員支援

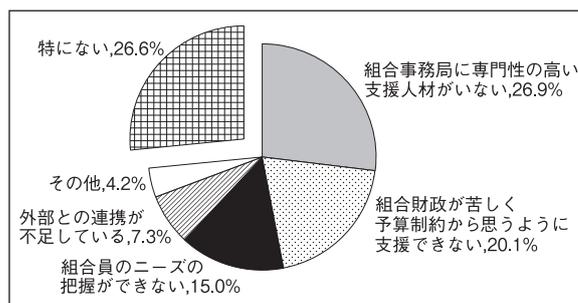


③問題点

今後組合員支援を実施するにあたり、支障があると思われる最大の問題点についてみると、「組合事務局に専門性の高い支援人材がない」(26.9%)が最上位に挙げられている。

次いで「特になし」が26.6%とほぼ同比率で続いており、大きな課題はないとみている組合も少なくない。以下「組合財政が苦しく予算制約から思うように支援できない」(20.1%)、「組合員のニーズの把握ができない」(15.0%)、「外部との連携が不足している」(7.3%)の順に続いている。【図表4】

【図表4】組合員支援上の問題点



④重視しているテーマ

次に組合が重視しているテーマをみると、「組合員相互の交流連携活動」が26.8%と最も多くの回答を集めている。以下「人手不足対応」(16.0%)、「人材育成・強化」(8.0%)、「組合活動に資する補助金の取得、情報の収集」(5.9%)、「販売・受注ルートの開拓」(5.3%)、「事業承継支援」(4.5%)、「共同宣伝や見本市、展示会の開催など販促活動の推進」(4.3%)の順に続いている。

多くの組合が、組合員の「人手不足対応」、「人材育成・強化」への支援を重視しており、今後新規に取り組みたい事業(前掲図表1)の上位にも挙げられている。【図表5】

【図表5】重視しているテーマ

順位	第1位(N=2,008)	回答比率 (%)
1	組合員相互の交流連携活動	26.8
2	人手不足対応	16.0
3	人材育成・強化	8.0
4	組合活動に資する補助金の取得、情報の収集	5.9
5	販売・受注ルートの開拓	5.3
6	事業承継支援	4.5
7	共同宣伝や見本市、展示会の開催など販促活動の推進	4.3
8	ブランド化、品質の保証・維持等による非価格競争力の強化	3.4
9	防災、BCP	3.2
10	その他	3.1

【出典：組合実態調査報告書2020年版(株式会社商工組合中央金庫・一般財団法人商工総合研究所)】

景況レポート

(7月分・情報連絡員60名)

全体景況DI値が2ヶ月連続で上昇

【概況(全体)】

7月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが6.7%(前回調査3.3%)、「悪化」が68.3%(同75.0%)で、業界全体のDI値は-61.6となり、前月調査との比較では10.1ポイント上回った。

本県の景況DI値は、東北・北海道ブロックよりも上回ったものの、全国と比較して上回る結果となった。

【業界別の状況】

新型コロナウイルス感染症の影響が長く続いているが、製造業・非製造業ともに「悪化」割合が減少しており、全体景況DI値は5月を底として、2ヶ月連続で上昇した。

県外との往来ができるようになった6月半ば以降、コロナ対策を講じた上での経済活動が本格化し、各種施策の効果もあり、景況感は改善されてきている。

しかし、7月半ば以降に新型コロナウイルスの感染が拡大し、今後の先行きが不透明な状況となったこともあり、前月に比べてDI値の上昇の幅は小さくなった。

<全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較>

	秋田県	全国	東北・北海道
全体	-61.6	-67.1	-59.6
製造業	-70.9	-73.0	-63.4
非製造業	-55.5	-62.7	-57.4

<景況天気図>

項目	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業							
非製造業							

【凡例】

快晴 30以上
 晴れ 10以上 30未満
 曇り 10以上 30未満
 雨 10未満
 雷雨 30以下

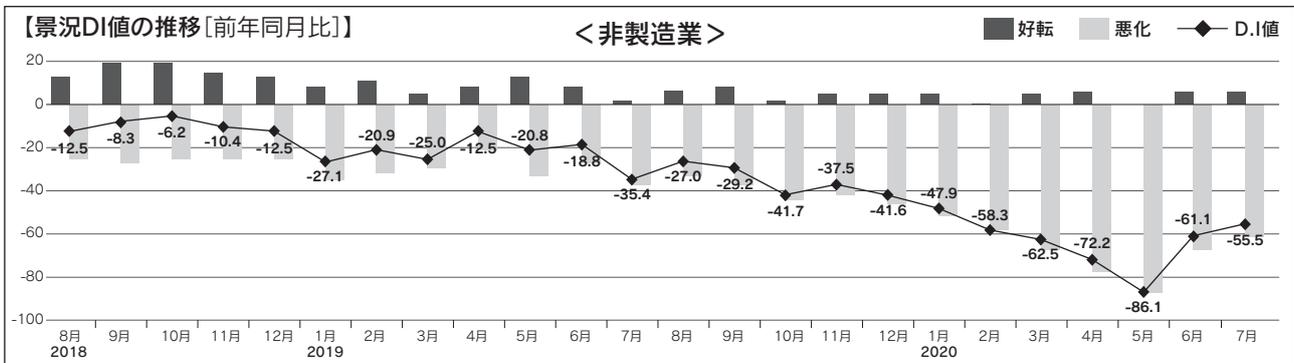
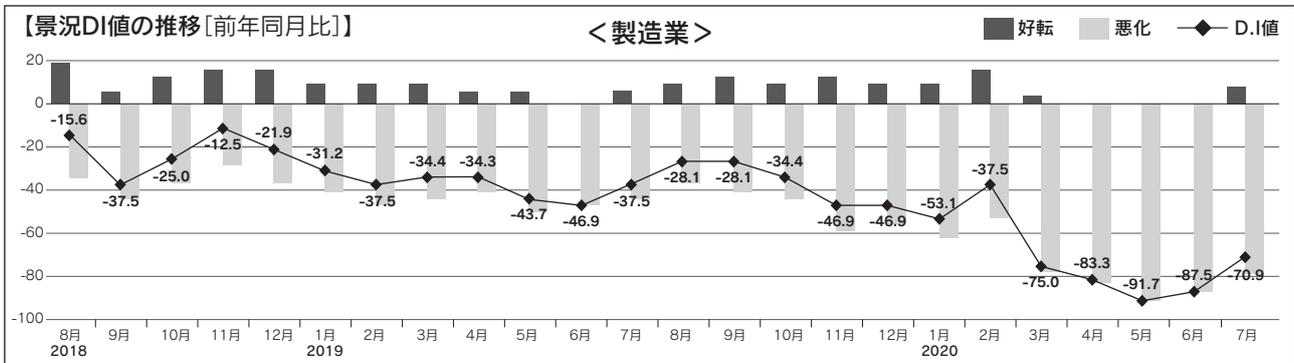
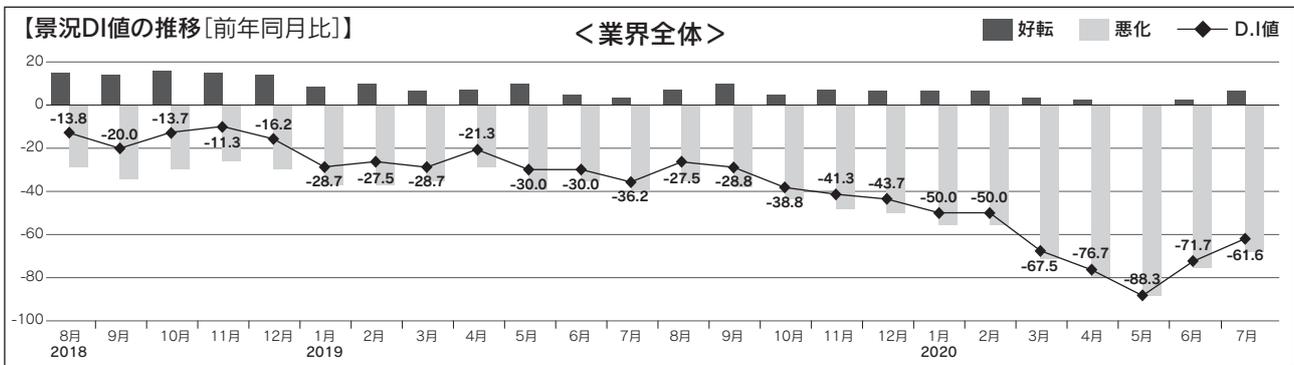
【天気図の見方】
前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

【業界の声】 ~製造業~

(回答数：24名 回答率：100%)

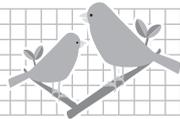
食料品 (パン)	新型コロナウイルス感染症で売上は低調に推移しており、特に菓子パンが低調である。行事や催事の中止による影響が大きい。
食料品 (米飯給食)	販売は、学校給食では実施日が増加したことで前年比146.7%となったものの、特注弁当では新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント減によりキャンセルの急増で前年比59.5%、宅配弁当は平日が少ないことにより前年比96.3%となり、全社では98.2%で推移した。収益は、イベント関連の特注弁当減少により多大な影響を受けた。
繊維工業 (ニット)	先月よりファッション衣料の仕事が増えているが例年と比べるとかなり少ない。医療用ガウンで凌いでいるが10月以降については見通せない状況である。
木材・木製品 (一般製材)	7月も新型コロナウイルス感染症による営業自粛、住宅展示場閉鎖等によって、売上が15%減少した。8月は更に荷動きが停滞し、売上減少による資金繰りは厳しい状況となる見込み。荷動き低迷の期間が不透明ではあるが、9月からゆるやかに回復するとの見方もある。製品出荷量が減少しており、原木の仕入量も15%程度受入れ量の調整を行っている。
木材・木製品 (素材生産)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一般製材、合板材工場の生産、販売量が5割減少したことから素材生産業者が生産した素材の在庫が増加した。今後、消費が回復しない場合、在庫の劣化(虫害)が進むことによる販売価格の低下に伴い、素材生産業者の資金繰りが厳しくなることが予想される。
印刷 (印刷)	新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、売上が減少している企業が増えている。資金繰りの悪化は小規模事業者ほど厳しい状態になっている。今後、組合員も含めて得意先の倒産・廃業が懸念される。
鉄鋼・金属 (機械金属)	新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、収益状況は悪化の一途をたどっている。先月に引き続き、見積り物件がほとんどなく、売り上げは5割~6割と落ち込んでいる。なかには、4割という企業もあり深刻な状況である。
一般機器 (金属加工)	受注が戻らず、組合員の中で一時帰休を実施している企業が出ており、他の組合員でも一時帰休を検討しているところがある。雇用調整助成金の申請や金融機関からの借入等を行っても資金繰りが厳しい状況にあり、依然として先が見えない。



【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：36名 回答率：100%)

- | | |
|------------------|--|
| 卸売業
(青果) | 売上高は前年同月比104.1%で推移した。7月は新型コロナウイルス感染症による自粛が一段落し、青果物の動きも活発になると期待していたが、ホテル業界や飲食業界等については、売上的大幅増とはならなかった。また、全国的な天候不順の影響を受け、商品の価格高騰及び品不足等を招き、売上は前年を上回ったものの、利益は出しづらい状況であった。特に、果物の入荷量が不安定で、実績に大きく影響した。 |
| 卸売業
(古紙) | 価格は下げ止まりとなっている。回収量は-3.9%(18,030kg)となっており、新聞は-15.1%(33,400kg)と大幅に減少した。発行部数減、ページ数減、折り込み広告減が要因である。コロナ禍による紙面広告の減少やスポーツイベントの中止により、記事が減ったため、ページ数減につながった。 |
| 小売業
(みやげ品) | 7月は対前年比40%まで回復したが、7月末からコロナウイルス感染拡大に伴い、観光客の移動が減少しているようで、今後の見通しは不透明である。 |
| 商店街 | 新型コロナウイルスの影響で状況が悪化、また個人消費も悪化しており、加えて6月末でキャッシュレス還元事業が終了したことから、厳しい状況になっている。(秋田市)
過去最低の売上水準に落ち込んでいる。感染者が出ていないものの、自粛状態となっており、衣料品店は仕入が困難となっている。(鹿角市) |
| サービス業
(建築設計) | 新型コロナウイルス感染症の影響としては、工事監理業務において工事の工期延長になった物件が1件あるがそれも落ち着きつつあり、全体受注量も昨年並みで推移している。 |
| サービス業
(タクシー) | 外出自粛ムードも和らぎ、一部地域では観光客の動きが出始めているようだ。また、繁華街での回復がタクシー利用にも結びついてきており、雇用調整を行っている一部では、急遽、出勤を命じている事業者もあり、想像より回復は早くなっているようだ。ただ、回復の実感を得るには、2~3ヶ月を要すると考えている。 |
| 建設業
(建築リフォーム) | 新型コロナウイルス感染症の影響により3~5月は動きがなかったが、6月後半から7月にかけて少し動きが出始めた。 |
| 運輸業
(トラック) | 7月の輸送状況は、かつてないほど悪く、売上・収益ともに減少傾向である。例年は繁忙期に入る時期であるが、今年は荷動きが悪いまま推移し、売上、収益ともに前年同月比で減少した。 |



中央会事業より

組合活力向上事業 研修会

～大館曲げわっぱ協同組合～

7月13日(月)と27日(月)の2回にわたり、大館市のプラザ杉の子において、大館曲げわっぱ協同組合(柴田昌正理事長、組合員4名)の組合活力向上事業が開催され、延べ13名が出席しました。

当組合の組合員企業は、コロナ禍で主要な販売先である百貨店等の休業で、販路が一時的に途絶えたことによる売上減少が深刻になっています。

また、若い世代に向けた認知度向上により、価値(ブランド力)を高めて類似品や安価な輸入品との差別化を図ることが求められています。

そこで、消費者に訴求すべき大館曲げわっぱの価値を組合内で再認識・共有し、その価値を組合や組合員の通販売上の向上、実店舗への誘導等につなげていくことを目的に本研修会を開催しました。

講師には、株式会社宮崎デザイン事務所代表取締役の宮崎昌裕氏を迎え、ワークショップ形式で進められました。

第1回目では、ネット通販を取り巻く現状を確認した後、大館曲げわっぱの購入者像を設定し、顧客の購買行動を見える化した上で、

その際に感じる喜びや不満などの感情について洗い出しを行いました。

参加者が思いついたことを付箋紙に自由に書き、時系列で貼り付けていく方法で行われ、出席者は顧客の購買体験を視覚化しました。

第2回目では、前回見える化した大館曲げわっぱを購入する人の行動とネガティブな感情(不便、不満、不安等)に対する課題を解決するための対応策の検討を行いました。

組合では、今回抽出した課題や対応策を基に、組合ホームページのリニューアル作業を行っていく予定であり、今後、内容の検討を重ねた上でコンテンツを決定することとしています。



[研修会の様子]

組合活力向上事業 研修会

～秋田市畳業協同組合～

8月17日(月)、18日(火)の両日、秋田市の秋田建築労働組合会館において、秋田市畳業協同組合(金義悦理事長、組合員13名)の組合活力向上事業が開催され、延べ26名が出席しました。

近年は、一般住宅へのフローリングの普及が拡大し、畳の需要は年々減少しており、畳製造業者は新たな販路を開拓することが求められています。

業界では、定期的に修繕が行われる重要文化財等の畳に着目しましたが、これらの畳は、機械で量産される一般的なものとは違い、手作業で製作される特殊な畳であり、製作する機会が少ないため、組合員企業によって技術に差が生じていました。

そこで、組合員の特殊畳の製作技術を高め、技術格差を無くすために本研修会を開催しました。

研修では、特殊畳を数多く手がけている尾形畳店代表の尾形祐之介氏を講師に迎え、

製作方法や修繕手順を学んだ後、実際に作業を行いました。

この特殊畳は、幾重にも重ねた稲わらを締め付け、圧縮して作られた畳床により作られ、現在の主流である、木材チップの圧縮板で発泡スチロールをはさんだ畳床を使った軽い畳が普及する前の伝統的な技法となっています。

組合では今後、本研修会で習得した技術を基に、特殊畳を使用している秋田市内の重要文化財等における畳修繕業務の受注獲得を目指していくこととしています。



[研修会の様子]

販路拡大に向けた研修会を開催(青年部研究会事業 研修会)

～秋田いぶりがっこ協同組合青年部～

7月17日(金)と29日(水)の2回にわたり、大仙市の大曲プラザつつみにおいて、秋田いぶりがっこ協同組合青年部(佐藤樹会長、部員9名)の青年部研究会事業が開催され、延べ29名が出席しました。

いぶりがっこは、地理的表示(GI)保護制度に登録されたことを契機に知名度アップと売上増加が期待されていますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、既存の取引先における売上が減少したため、新たな需要の掘り起こしと販路の開拓が求められています。

そこで、いぶりがっこの需要の把握やバイヤーが求める商品設計等を学ぶため、県内外の販路開拓支援を手がけてきた有限会社匂香代表取締役の渡邊勇氏を講師に迎え、本研修会を開催しました。

第1回目では、業務用いぶりがっこの市場のニーズについて、講師より「地域の伝統食としての文化と歴史に加え、地理的表示(GI)保護制度に登録されたことにより、製法等の品質基準が担保されていることが強みである。未病対策分野や海外の富裕層に向けた健康

食材としてのニーズがあるので、販路になりうる。」と説明がなされ、出席者とのディスカッションも交えながら進められました。

第2回目では、バイヤーへの効果的な商品の伝え方について説明がなされ、「食べ方やメニューの提案を行うとともに、秋田県産の大根や天然塩の使用により、さらなる高級化・差別化につながる。」と述べられました。

同組合青年部では今後、個別に商品開発や提案型営業等の取組を行い、青年部員の新規受注の獲得を目指すこととしています。



[研修会の様子]

あきた食品事業マネジメント力講座が開講

～製造マネジメントコース～

8月20日(木)、秋田市の秋田県青少年交流センター「ユースパル」において、あきた食品事業マネジメント力講座が開催されました。

この講座は、県内の食品製造事業者の役員や従業員を対象に、県外市場への展開を目指すマーケティングノウハウや生産性向上等に資する製造管理手法等に関する講座等を実施することにより、県内食品製造事業者の事業活動の中核を担う人材の育成を図ることを目的に、県産業労働部地域産業振興課食品工業班が主催したもので、本会は運営事務局を担っています。

当講座は県外展開マーケティングコースと製造マネジメントコースの2つのコースがあり、この日は製造マネジメントコースの第1回目が開催されました。

講座では、講師の株式会社日本能率協会コンサルティングシニアコンサルタント廣田正人氏より「工場運営の基本とコストマネジメント」をテーマに、工場のコスト構造や製造現場で発生するコスト等についての説明があり、その後、受講者自らがグループで包装袋の作成実習を通じてコスト削減の方法を検討しました。

廣田氏からは、「コスト削減や現場改善について、若い人からのアイデアを過去の自分の経験から無理だと決めつけ否定しないで欲しい。また、自分ができることから、まず一步踏み出してみることが大切である。」とのアドバイスがありました。

当講座は11月にかけて各コースとも4回開催され、10月下旬には、秋田駅改札前通路のぼろーどにて希望者による実践演習(出店販売会)を実施し、最終回では両コースの受講者や過去の受講修了者、支援機関等の参加による、事業の拡大に向けた特別講座と拡大交流会を実施する予定です。



[講座の様子]

通常総会・生産行程管理業務研修会を開催 ～秋田県いぶりがっこ振興協議会～

秋田県いぶりがっこ振興協議会(会員3団体、鈴木辰美会長)の令和2年度通常総会が7月31日(金)、横手市の横手市民会館にて開催され、会員団体や関係機関から28名が出席しました。

総会では、令和元年度事業報告書及び収支決算が満場一致で承認された他、今年度の事業計画及び収支予算等が満場異議なく可決されました。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、会長1名、副会長3名、理事3名、監事1名が選任され、鈴木辰美氏(秋田いぶりがっこ協同組合理事長)が会長に再任されました。

総会終了後には、生産行程管理業務研修会が開催され、地理的表示(GI)保護制度に登録された生産者団体として、当協議会が定めている表示ルール等について確認を行いました。

当協議会では、GI産品である基準等について更なる周知活動を行うとともに、いぶりがっこの品質向上や技術研鑽を図りながら、秋田県の漬物としてのブランド化や、生産・販路拡大等に取り組むこととしています。



[総会の様子]

東海林正豊氏を会長に再任

秋田県中小企業青年中央会(会員27青年部、個人3名、東海林正豊会長)の令和2年度通常総会が書面にて開催され、会員28名から書面議決書が提出されました。

総会では、令和元年度事業報告書及び収支決算書をはじめ、全議案が原案どおり可決されました。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、提出された役員案に全員が賛成した結果、東海林正豊氏(秋田県印刷工業組合印刷産業ビジョン研究会)が会長に再任され、他に副会長2名、理事7名、監事2名が選出されました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を

～秋田県中小企業青年中央会～

鑑みながら、活発に活動している会員企業の視察研修等を企画し、組合青年部同士の交流を図っていくこととしています。



[令和元年度事業より：全国講習会(秋田市)]

堀川深雪氏を会長に再任

秋田県中小企業組合士会(会員70名、堀川深雪会長)の令和2年度通常総会が書面にて開催され、会員63名から書面議決書が提出されました。

総会では、令和元年度事業報告書及び収支決算書をはじめ、全議案が原案どおり可決されました。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、提出された役員案に全員が賛成した結果、堀川深雪氏(協同組合秋田卸センター)が会長に再任され、他に副会長2名、理事3名、監事2名が選出されました。

今年度は、当会創立45周年の節目ですが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、記念

～秋田県中小企業組合士会～

式典等の開催を見送ることとし、研修会についても、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて、実施することとしています。



[令和元年度事業より：花善の八木橋社長を招いて開催した研修会]

新理事長紹介

下記の方が新しく理事長に選出されましたので、ご紹介します。

協同組合鷹巣銀座通商店会（北秋田市）
理事長 佐藤 大さん

組合員名：日活書店
役 職：代表取締役
選 出 日：令和2年5月27日

協同組合大館総合卸センター（大館市）
理事長 乳井 仁さん

組合員名：乳安商事株式会社
役 職：取締役
選 出 日：令和2年5月30日

秋田県山林種苗協同組合（秋田市）
理事長 田村 政則さん

組合員名：有限会社田村山林緑化農園
役 職：代表取締役
選 出 日：令和2年7月31日

－会員組合の皆様へ－

本コーナーでは、会員組合の理事長交代について紹介しております。新しい理事長が選出された場合は、本会 総務企画課(☎018-863-8701)までお知らせください。



■新たな「秋田のおみやげ」が決定

この度、あきた食のチャンピオンシップ2020（主催：県観光文化スポーツ部秋田うまいもの販売課、共催：本会、（一社）秋田県観光連盟ほか）が開催され、新たな「秋田のおみやげ」が決定しました。

あきた食のチャンピオンシップとは、新たな秋田のお土産品の発掘を目指して開催されているものであり、昭和54年に始まった「秋田県特産品開発コンクール」の流れを汲み、今年で40回目を迎える伝統のあるコンクールで、過去2年以内に開発・改良された商品が審査対象となります。

最高賞である金賞（秋田県知事賞）には有限会社露月堂（横手市）の「もふどら」が選ばれた他、本会会長賞である奨励賞には、秋田活性化株式会社（秋田市）の「金の比内地鶏アヒージョ」が選ばれました。



【もふどら】



【金の比内地鶏アヒージョ】

～あきた食のチャンピオンシップ2020～

この商品は、食品添加物を使わずに、本場大館産の比内地鶏の旨味をぎゅっと閉じ込めた缶詰です。

なお、その他の受賞商品は次のとおりです。

- 銀賞（秋田県知事賞）加工品部門
「即席袋めん」
有限会社佐藤養助商店（湯沢市）
- 銀賞（秋田県知事賞）菓子・飲料部門
「スピリッツ46%秋田杉GIN」
秋田県醗酵工業株式会社（湯沢市）
- 奨励賞（秋田県の観光と物産展実施協議会会長賞）
「甘酒のジャム」
合同会社三吉フーズ（大仙市）
- 奨励賞（一般社団法人秋田県観光連盟会長賞）
「いぶりがっこしょこら「け」」
株式会社川口屋（秋田市）

受賞商品は、秋田市のアトリオン地下1階の秋田県産品プラザでお買い求めいただけます。

商品については、秋田県産品プラザを運営している株式会社秋田県物産振興会へお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

（株）秋田県物産振興会

TEL：018-836-7830

ホームページ：http://www.a-bussan.jp

インフォメーション

令和3年度本会助成事業のご案内

本会では、組合及び業界が直面している課題等の解決を図るために各種助成・支援事業を実施し、組合等の支援を行っており、この度、来年度（令和3年度）の支援先を募集します。

（1）組合及び組合員が抱えている課題解決に取り組みたい時は…

「組合活力向上事業」

人材育成を図る研修会等を企画します。

(2)若手の育成を図りたい時は…

「青年部研究会事業」

青年部を対象とした研修会に活用できます。

(3)専門家からアドバイスをもらいたい時は…

「トータルサポートアドバイザー事業」

ご相談内容に精通した専門家を派遣します。
組合及び組合員企業が対象です。

これらの事業は、ご応募いただいた組合等と
本会担当職員が相談・検討の上、支援させてい
ただくオーダーメイドの事業です。

ぜひ、組合及び組合員企業でのご活用をご検
討ください。

なお、ご不明な点がありましたら、本会まで
お気軽にお問い合わせください。

マイナポイントを活用した消費活性化策について

(総務省)

総務省では、マイナポイントを活用した消費
活性化策として、「マイナポイント事業」を実施
します。

ポイントを利用するための準備を行い、
キャッシュレス決済サービスでチャージ(IC
カード等へのチャージ)または買い物(スマホの
QR決済等)をすると、利用金額の25%が「マイナ
ポイント」として付与されます。なお、期間中の
一人当たりの付与上限は5,000ポイントです。

マイナポイントの取得・利用期間は2020年
9月1日から2021年3月31日です。

◎マイナポイントとは

マイナンバーカードを活用した全国共通のポ
イントです。ポイントが付与されたICカードやQR
決済等により、いつもの買い物に利用できます。

◎マイナポイントをもらうためには

1. マイナンバーカードを取得

マイナンバーカードを申請・取得します。
(電子証明書もあわせて申請します。)

マイナンバーカードの申請は、主に、スマホ、パ
ソコン、郵送の3つの方法で行うことができます。

2. マイナポイントを予約(マイキーIDを設定)

マイナンバーカードを取得したら、マイキーブ
ラットフォームのサイトやスマホ用アプリでマ
イナポイントを予約(マイキーIDを設定)します。

3. マイナポイントの申し込み

マイナポイント申し込みページやスマホ用
アプリから、利用したい決済サービスを選択し
ます。

4. 選択した決済サービスでチャージまたは買い物

利用金額に応じてマイナポイントが付与
されます。プレミアム率は25%、一人当たり
5,000ポイントまでもらえます。

詳しくは、下記をご覧ください。

[総務省HP] <https://mynumbercard.point.soumu.go.jp/>

【マイナポイントに関する問い合わせ先】

マイナンバー総合フリーダイヤル
0120-95-0178(マイナポイントは音声ガイダンス5番)

「令和3年経済センサスー活動調査」における企業構造の事前確認について(総務省・経済産業省)

総務省・経済産業省では、令和3年6月に全て
の事業所・企業を対象とした「令和3年経済セ
ンサスー活動調査」を実施します。

この調査は、我が国における産業構造を包括
的に捉え、経済活動の実態を明らかにすること
を目的とする政府の重要な調査であり、統計法
に基づいた報告義務のある調査(基幹統計調
査)として5年に一度実施しています。

その調査結果は、国及び地方公共団体におけ
る各種施策の立案、実施のための基礎資料とし
ての利活用や、経営の参考資料として事業者の
方々にも広く活用されています。

この本調査の円滑な実施のため、令和2年10
月下旬から順次、支所等を有する企業本社の
方々に対して、企業傘下の支所等の事業内容等
を確認する「企業構造の事前確認」を行います。

「企業構造の事前確認」では、総務省・経済産
業省で把握している各企業の支所等の情報を
記した『確認票』を本社に送付し、その内容を確
認・修正いただくこととしています。

これにより、本調査において、それぞれの企
業に合わせた調査票を準備し、回答される方の
負担の軽減を図ります。

なお、本調査の概要は次のとおりです。

- 調査の期日 令和3年6月1日現在
- 調査の対象 全国すべての事業所・企業
- 主な調査事項

〈基礎項目〉名称及び電話番号、所在地、経営組
織、従業員数、主な事業の内容など

〈経理項目〉資本金等の額及び外国資本比率、売
上(収入)金額、費用総額及び費用項
目、事業別売上(収入)金額など

●調査の方法

- ・単独事業所、新設された事業所など
→調査員が訪問します。
- ・支所等がある企業、単独事業所など
→インターネット・郵送にて実施します。

【お問い合わせ先】

経済産業省大臣官房調査統計グループ構造統計室
電話：03-3501-6606(直通)

～退職職員のお知らせ～

本会総務企画課主幹齋藤典昭さんが8月31日
をもって退職致しました。

齋藤さんは、26年5ヶ月間にわたり県内の組合・
業界の育成・支援に力を尽くされ、本会の発展に大
きく貢献されました。

今後益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。

官公需適格組合

『カデル』

秋田管工事業協同組合

理事長 本多 秀文
副理事長 谷藤 健二
" 太田 博之

秋田市山王臨海町3番18号

☎018(862)6161/FAX 018(824)5685



お客様のココロに「ハレ=笑顔」をつくりたい。

私たちはこれからも、もっと伝わる、
もっとココロに残るおもてなしを目指します。



Akita
Castle Hotel

秋田キャッスルホテル
秋田市中通1-3-5 TEL.018-834-1141

全国中小企業団体中央会 会員の皆様へ
日本商工会議所 会員の皆様へ

業務災害補償制度



AKITA HOKEN

保険と暮らしの相談センター

URL <https://www.akitahoken.co.jp>

株式会社 アキタ保険



ISO 9001
JUSE-RA-2015

対象業務: 損害保険代理業務・生命保険代理業務



MS
JAB
CM008

秋田本社

☎018-864-6921

〒010-0951 秋田市山王6丁目5-9
FAX: 018-864-6922

フレスポ本荘店

☎0184-24-5511

〒015-0011 由利本荘市石脇字田頭141-1
FAX: 0184-24-5512

県南事業所

☎0182-23-5145

〒019-0529 横手市十文字町字街道下88-9
FAX: 0182-23-5146

株式会社

八幡平貨物



一般区域貨物自動車運送
原木・木材の伐出及び仕入・販売

秋田県鹿角市八幡平字谷内下毛平116-12

TEL 0186-34-2011

FAX 0186-34-2013

おかげさまで20周年を迎えることができました。
今後ともご愛顧のほどよろしくお願いいたします。



保険&リース

北日本ベストサポート

【本店営業部】

〒010-0967 秋田県秋田市高陽幸町8番17号
TEL:018-883-1888/FAX:018-883-1822

【県南営業部】

〒014-0047 秋田県大仙市大曲須和町1丁目4番地57号
TEL:0187-66-3622/FAX:0187-88-8133

【能代東支店】

〒016-0122 秋田県能代市扇田字東扇田165-2
TEL:0185-58-2116/FAX:0185-58-2663

【酒田支店】

〒999-8438 山形県飽海郡遊佐町比子字白木23-362
TEL:0234-75-3370/FAX:0234-75-3376

[URL] <http://www.knbs.jp>

『スキルアップ』

千代田興業株式会社

代表取締役社長 藤澤 正義

本社・工場：秋田市川尻町字大川反 170-49 TEL 018(864)6200(代)

建設事業部：秋田市川尻町字大川反 170-19 TEL 018(888)3666

URL：http://www.k-chiyoda.jp

For Earth, For Life
Kubota

Hello, my Smile

陽菜 Smile
SUNNY



詳しい製品情報はこちらのQRコードから！

株式会社 秋田クボタ

〒011-0901 秋田市寺内字神屋敷295-38

Tel: 018-845-2121 Fax: 018-845-8600

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

01.

全国ネットワーク支援

47都道府県に広がる店舗網や7万社以上のお客さまとのリレーションを活かして、中小企業間の連携をサポートします。

02.

組合支援

組合運営のフォローや補助金等の情報提供、ご融資まで、中小企業組合の活動を情報と金融で継続的にサポートします。

03.

海外展開支援

海外拠点や現地の政府機関、提携金融機関とのネットワークを活かして、中小企業の海外進出を継続的にサポートします。

秋田支店 018(833)8531 〒010-0001 秋田市中通2-4-19



人を思う。未来を思う。

商工中金

2020
9
Sep

中小企業あきた

令和2年9月1日発行（毎月1日発行）第724号

発行/秋田県中小企業団体中央会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47 ☎018-863-8701 FAX 018-865-1009

印刷/秋田活版印刷(株)

定価280円